

交野市立小学校5、6年生、  
交野市立中学校1年生の皆さんへ



交野市の教育委員会で教育長という仕事をしている北田千秋です。  
「だれ?」と思うでしょうが、学年の後半、コロナを乗り越えみんなで協力して、  
いっそう素晴らしい学校をつくってほしいという思いで書きました。長いですが読んで  
ください。

いよいよ小学校では運動会、中学校では体育大会・体育祭ですね。

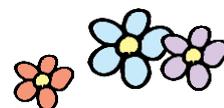
中学校1年生の皆さんは、小学校5、6年生の運動会は午前中だったので久しぶりに午後からも競技することになりますね。小学校の時は、5年生の宿泊学習が日帰りになったり、コロナで楽しみにしていた行事が縮小や中止になりました。その分、中学校では仲間と協力してたくさんの思い出を作ってください。

6年生の皆さんは、小学校最後の運動会や修学旅行、それぞれ取り組みを進めていることでしょう。楽しみですね。去年は、宿泊学習がありましたね。でも、その前の年はコロナのため宿泊学習はできませんでした。今の中学校1年生はそんな学校生活の中でがんばっていました。だから、次の年、コロナでもなんとか宿泊学習ができるように先生や交野市やいろんな人で考えました。みんなの行事は先輩たちの活動があってできます。みんなも、5年生や後輩たちのために今の学校生活をしっかり、そして一生懸命過ごしてください。

5年生の皆さんは、今年ひさしぶりにプールの授業がありました。3年生、4年生とプールの授業がなかったのが小学校になって初めての大きなプールを経験しましたね。行事や授業がだんだん以前の状態にもどってきました。だから、5年生での半年、来年の6年生での小学校生活、そして中学校に向けて、希望がどんどんわいてきていけばうれしいです。

3年前の今ごろ、新型コロナウイルスやそのえいきょうで家や学校での生活がこんなに変わるとはだれも想像できませんでした。でも、コロナがなかったも、みなさんの中学校生活や小学校高学年の学校生活が予想とちがったかもしれません。

予想は外れることが多いです。「挫折（ざせつ）」という言葉があります。途中で失敗してくじけてしまうことです。思っていたようにならずうまくいかない時、「穴に落ちる」とか「壁（かべ）にぶち当たる」という言い方もあります。でも、そんな時こそ、みんなで助け合うことが大切です。みんなで穴に落ちた人を引き上げ、みんなの力で壁をよじ登る。その大切なことをこのコロナの3年間で学んだのではないですか。学んでくれたなら、コロナで制限のある学校生活を願った大人として、少し心がやすらぎます。



交野市では「小中一貫教育」というのを進めています。小学校の6年間と中学校の3年間で別々ではなく一つと考えて、義務教育9年間でこれからの社会で活躍できる力を皆さんに身につけて欲しい、そんな願いのこもった教育です。皆さんは、その小学校と中学校を結ぶ「かけ橋」になる学年です。小学校で学んだことが中学校につながり、中学校で学んだことが未来の皆さんの活躍につながる。この予想だけは絶対に当たると信じています。

令和4年9月

交野市教育委員会教育長 北田千秋

